

幼・保・小・中 一貫教育プロジェクト

研究部会発 幼保小中一貫教育プロジェクト

幼保小中一貫教育プロジェクトの研究部では、今日的課題の中から学力向上を取り上げ、家庭学習の習慣化に取り組んでいます。

〔家庭学習時間の実態〕

- ・小学4年生から中学3年生までの子どもの多くが、家庭での学習時間が1時間未満。
- ・中学生の家庭学習の時間が少ない。
- ・全体的に、テレビの視聴時間が長い。

よい方法は
ないかしらう？



<学びウィークの実施>

● 学びウィークとは

子どもたちの家庭学習習慣の確立に向けて、町内4小学校が連携して中学校のテスト週間に家庭学習をすすめるものです。家庭向けの文書を配布し、保護者の協力を得て家庭学習の習慣化を図ります。

● 現在の成果

平成23年度から段階的に実施し、平成24年度末には8割近くの保護者の皆さんに周知されるようになりました。しかし、積極的に雰囲気作りに関わってくださる家庭が3割程度で、家庭学習の習慣化に向けて更なるご協力をお願いしているところです。

● 家庭へお願いしていること

- ・ 学びウィーク中は、テレビやゲームを控え、学習の雰囲気作りに努める。
- ・ 目標時間以上にがんばることのできた子どもをほめる。(学びウィークがんばりカードへの記入)



自分ひとりで
がんばったね

<学習の手引きの作成>

● 学習の手引きとは

単に宿題だけで終わりがちな児童にとって学習の参考となるものです。7割弱の保護者が、必要だと感じています。

● 作成で留意した点

- ・ 年齢に応じた学習の仕方について参考となるように作られています。
- ・ 宿題以外の家庭学習の参考となる内容です。
- ・ 幼稚園・保育園から小学校へ、小学校から中学校への接続が図られています。

【おすすめ勉強法】

中学校での学習法〜こう取り組んでみよう〜

一生に一度しかない中学校。何ができれば成功しよう？それは、間違いなく自分を鍛えること。心も、知識も、体力も。全ての実で鍛えること。これらは、『夢を叶える力』になります。

さあ、夢を叶えるため今、自分自身を鍛えよう！

「こんな力をつけよう！」

今の自分は、ここに鍛えられている「力」がどれくらいありますか？

この力を伸ばそう〜

読書・家庭学習などで「できる」を目指そう。

※目標を定める具体的な目標	→Oでできる具体的な目標
※時間を過ぎただけの授業	→Oでできるための授業
※元々からないための勉強	→Oでわかってきたための勉強
※「かこうつづける」ためのできたら	→Oでできないところを確実にできるかこうよき
※できないことを「人のせい」にする	→O自分の弱みを認め、克服する

家での勉強のコツ 挑戦してみよう！

漢字の練習は、漢字100枚書いたら、100枚の漢字が書ける練習をしたほうがGOOD。	練習するときは、好きな音楽を流してやる気を出そう。	社会の勉強は、1冊の教科書で済ませよう。
自分の得意な教科書は、10回以上読んで、覚えてしまおう。	1冊の本を1週間読んで、その中の好きな部分だけを読んでみる。	国語の勉強は、10回以上読んで、覚えてしまおう。
国語の勉強は、10回以上読んで、覚えてしまおう。	国語の勉強は、10回以上読んで、覚えてしまおう。	国語の勉強は、10回以上読んで、覚えてしまおう。
毎日、勉強を続けること。勉強は、世界に通用するコミュニケーションの力。みんなを出て、強くなろう。	毎日、勉強を続けること。勉強は、世界に通用するコミュニケーションの力。みんなを出て、強くなろう。	毎日、勉強を続けること。勉強は、世界に通用するコミュニケーションの力。みんなを出て、強くなろう。

さあ、覚悟を決めて「できる」能力を伸ばそう！

学習の手引き(中学校用)

